

学校体育研究同志会

第 35 回 大阪支部研究大会(豊中大会)

(大会テーマ)

「子どもも教師も、やりたくなる授業づくり」



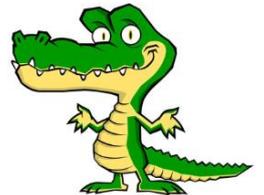
11月21日(土)～22日(日)

会場:豊中市立 小曾根小学校

(阪急宝塚線「服部天神駅」より東へ

徒歩 10 分)

大会キャラクター おマチカネくん



21日	9:00	9:30	12:00	13:00～	14:20	14:30	17:00	
	開会行事	分科会 I -1	昼食	記念講演		分科会 I -2	終了	
22日		9:30	12:00	13:00		15:30	15:45	16:10
		分科会 II -1		昼食	分科会 II -2		閉会 行事	

* 21 日受付 8 : 3 0 ~

22 日受付 9 : 0 0 ~

受け付け開始 10月 1日より大会当日まで

主催: 学校体育研究同志会 第 35 回大阪支部大会 (豊中大会) 実行委員会

後援: 大阪府教育委員会 豊中市教育委員会

池田市教育委員会 豊能町教育委員会 能勢町教育委員会

申込先: 出来るだけ、右の QR コードから申し込み下さい。操作が困難な

場合のみメールにてお受けします。 susutake21jp@yahoo.co.jp



11月21日(土)

開会行事 (9:00~9:20)

分科会 I (1部 9:30~12:00、2部 14:30~17:00)

分科会エ以外は1部・2部のどちらかで、実技を行うよ!



ア	陸上運動	入門：梅山和也 (岸和田市立旭小)	子どもたちは走ることが大好き!でも、学習ってどのように進めていけばいいの?陸上運動で大切にしたいポイントを、ハードル走の実践を例に、実技を通してみなさんと一緒に考えていきたいと思います。
		実践：増田樹紀 (岸和田市立東光小)	
イ	民舞	入門：大西朱夏 (枚方市立桜丘小)	荒馬を中心に報告します。入門提案では、民舞を運動会とする意味と教える中身について考えます。林実践は低学年・中学年で取り組んだ荒馬で、学年による発達段階の違いが見えてきます。馬作りを通じた、保護者との繋がりも考えます。荒馬実技では、宮本実践に基づいて学習します。「祭り」という合言葉で岸和田と現地を繋ぎ、1・2生の教え合いの様子を追体験します。
		実践：林朗子 (枚方市立氷室小)	
ウ	障害児体育	入門：辻内俊哉 (府立泉南支援学校)	「子どもたちが夢中になる体育の授業」をめざして、どのように教材を準備し、どのように支援をしながら授業づくりをしていくのか、支援学級「風船バレー実践」を元にみんなで考えていきます。また、「ポッチャ」や「キャスターボード運動」など、すぐに役立つ実技も紹介します。
		実践：沖村寛斗 (東大阪市立小阪小)	
エ	運動会・体育行事	入門：片本宏茂 (大阪市立千本小)	「運動会を1学期に実施」「午前中で終了」「競技のみ」など、運動会の扱いや捉え方が急速に変化してきています。分科会では「運動会は何のために?」「子どもを育てる運動会実践とは?」など、運動会の意義と実践づくりについて考えていきます。また、岨賢二先生の学校がコロナ感染症に揺れた中で、児童の主体性を尊重したホットな取り組みの報告も併せて行われます。記念講演も含めてより深い学びが出来ると思います。
		実践：吉澤潤 (東京都公立小)	
		実践：岨賢二(南あわじ市立神代小学校)	
オ	授業作り I ①マット	実技：古川宗治 (奈良市立右京小)	低学年から中学年までのマット運動の内容を提案します。低学年では「ネコちゃん体操」から始まり、「動物歩き」「お話マット」、中学年では、「側転の習熟」と「側転を含む連続技」など実技を通して系統的に学ぶことができます。
	②ボール運動 (手)	実技：佐々木盛文 (富田林市立千代田小)	体育の授業では子どもたちの認識や実態に合った教材が選ばれる必要があります。そのために教材の加工や工夫が求められます。手で扱うボール運動の実技を通して教材作りの考え方を学んでいきます。

*障害児体育、授業づくり①②は体育館シューズを持参ください。

記念講演(13:00~14:20)

「運動会は何を経験させる場か?」

神谷 拓教授(関西大学 人間健康学部)



組体操や、行事精選で揺れる運動会。こんな時期だからこそ、運動会の本質論を考えてみませんか?

11月22日(日)

クケと水泳以外は1部・2部のどちらかで、実技やるよ!



分科会Ⅱ (1部 9:30~12:00、2部 13:00~15:30)

カ	器械運動	入門：日名大吾 (柏原市立堅下小)	器械運動の教える中身やつけたい力について、3・4年生で取り組んだ跳び箱・マット運動の実践報告を中心に考えていきます。スモールステップで技術を高めていだけでなく、技をつなげたりそろえることで感じられる表現の楽しさを、具体的な報告と実技を通して考えていきます。
		実践：窪田浩尚 (東大阪市立枚岡東小)	
キ	幼年体育	入門：塩田桃子 (大阪成蹊短期大学)	3歳児のボールあそび実践です。子ども達にどんな力をつけてほしいか、保育者の願いが強くなりすぎないように、子ども達と一緒に遊びを発展させていこうと、試行錯誤しながらの実践です。3歳児の子ども達にとって、ボールあそびでの要求は何なのか、発達も踏まえながら学び合えたらと思っています。
		実践：日下陸矢 (おおぞら保育園)	
ク	健康教育	入門：藤沢岳矢 (千早赤阪村立赤阪小)	実践報告は2年生の「睡眠」と「みんなどこから」の実践です。入門提案、模擬授業形式の報告を交えて、今の教育現場にあった形での実践について考え合います。健康教育実践をしたいけどなかなか踏み出せないと思っている方、ぜひ参加してみてください。
		実践：佐々木真紀子 (元小学校教師)	
ケ	グループ学習	入門：片本宏茂 (大阪市立千本小)	子どもたちの「要求」や「不満」を「ルールづくり」につなぐことができたか？—低学年のホールディングバレー実践の読み解きを通して、どのように学習集団づくりを進めていくのか考えます。
		実践：山本敦子 (大阪市立東小橋小)	
コ	授業作りⅡ ①サッカー	実技：船富公二 (元小学校教師)	幼小低・中・高学年児童の発達課題に応じたサッカーの学習内容を紹介します。脚で物を扱うことが皆無な生活を送る児童とサッカー少年との技術差は大きい。そんな中、サッカー学習をどう仕組むか？を考えましょう。
	②水泳	提案：牧野満 (香芝市立下田小) 古川宗治 (奈良市立右京小)	低学年での「いろんな動物が出てくるお話プール」や、中学年からの「みんなが泳げるようになるドル平からの水泳指導」を報告します。実技では、泳げる子も、まだ泳げない子も一緒に学べる指導方法を紹介します。

*** 器械運動と幼年体育分科会は体育館シューズを持参ください。**

閉会行事(15:45~16:10)

会場へのアクセス

- 阪急宝塚線「服部天神駅」より
東へ徒歩 10分
- 地下鉄御堂筋線「江坂駅」より
西へ徒歩 20分



※会場には駐車場はありません。お車でお越しの際は近隣にコインパーキングがあります。

※昼食は各自ご用意ください。近くにコンビニ・スーパー・飲食店もあります。

○参加費 2日間…5000円(学生2500円) 1日目のみ…3500円(学生1500円)

2日目のみ 2500円(学生1000円) 講演会のみ…1500円

参加費は当日参加時に徴収させていただきます。

